



## 平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大森屋

コード番号 2917 URL <http://www.ohmoriya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 稲野 龍平

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 中田 勝

TEL 06-6464-1198

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	8,494	—	25	—	33	—	1	—
27年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 △10百万円 (—%) 27年9月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	0.23	—
27年9月期第2四半期	—	—

(注) 平成27年9月期より連結財務諸表を作成しているため、平成27年9月期第2四半期及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第2四半期	12,543	9,518	75.9	1,876.64
27年9月期	12,048	9,606	79.7	1,893.90

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 9,518百万円 27年9月期 9,606百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	16,640	2.2	85	41.2	95	37.1	25	4.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

親会社株主に帰属する当期純利益の対前年増減率は、前期の当期純利益が△8百万円であったため記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期2Q	5,098,096 株	27年9月期	5,098,096 株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	25,761 株	27年9月期	25,561 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期2Q	5,072,506 株	27年9月期2Q	5,073,139 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する注記は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。  
なお上記予想に関する事項については、添付資料3ページの「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策および日銀の金融政策を背景に企業業績の改善や設備投資の増加、雇用情勢の改善等、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方、円安による物価上昇懸念等により個人消費は伸び悩み、また海外の経済情勢が不安定なことにより、依然として先行き不透明なまま推移いたしました。

当社グループを取り巻く市場環境も、消費者の生活防衛意識の高まりから、節約志向、低価格志向が恒常化しており、製品販売価格は低迷が続いております。また、当社グループの主要原材料である原料海苔は、平成25年度の収穫期における不作の影響から2年続いて仕入価格が高騰しておりましたが、平成27年度も漁期開始当初の不作の影響により仕入価格は更に高騰し、原料高販売安という大変厳しい環境に直面いたしました。

このような状況のもと、当社では原料海苔仕入価格高騰によるコスト増を製品価格の値上げによりカバーするべく販売活動を展開するとともに、広告宣伝費を中心とした経費削減に注力し、経営効率の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,494百万円となりました。利益面におきましては、製品価格の値上げに注力しましたが、原料海苔の高騰によるコスト増を全ては吸収できず、営業利益は25百万円、経常利益は33百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1百万円となりました。

なお、品目別売上高の状況を示すと次のとおりであります。

家庭用海苔につきましては、一部製品価格の値上げを実施したことなどにより、売上高は3,498百万円となりました。進物品につきましては、新製品の投入効果や既存品が好調に推移したことにより、売上高は881百万円となりました。ふりかけ等につきましては、主力品の「お茶漬亭10袋」が好調に推移したことや新製品の寄与により、売上高は1,646百万円となりました。業務用海苔につきましては、既存取引先での販売が好調に推移したことにより、売上高は2,400百万円となりました。その他の売上高は54百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (1) 資産、負債及び純資産の分析

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて495百万円増加し、12,543百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて522百万円増加し、9,760百万円となりました。これは主に、たな卸資産が1,695百万円増加したこと、現金及び預金が826百万円、受取手形及び売掛金が260百万円、その他の流動資産が77百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて27百万円減少し、2,783百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて583百万円増加し、2,467百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加600百万円及び支払手形及び買掛金の減少61百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0百万円減少し、557百万円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金の増加6百万円及び退職給付に係る負債の減少6百万円によるものであります。

##### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて87百万円減少し、9,518百万円となりました。これは主に、利益剰余金が74百万円、その他有価証券評価差額金が14百万円それぞれ減少したことによるものであります。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当社は、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて826百万円減少し、251百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1,326百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益32百万円、売上債権の減少額270百万円、法人税等の還付額66百万円、減価償却費57百万円の収入があったものの、たな卸資産の増加額1,696百万円、仕入債務の減少額60百万円の支出があったことによるものであります。

なお、当社の主要原材料である海苔は、おおよそ11月から翌年3月にかけて収穫され、この期間に翌1年分の原料海苔を仕入れるため、第2四半期連結会計期間末ではたな卸資産が増加いたします。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は21百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出19百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は524百万円となりました。これは主に短期借入れによる収入800百万円があったものの、短期借入金の返済による支出200百万円、配当金の支払額75百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の業績予想につきましては、平成27年11月13日付の「平成27年9月期決算短信」で公表しました数値を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成28年5月12日)公表しました「平成28年9月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

(追加情報)

(法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来32.2%から平成28年10月1日及び平成29年10月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については30.8%に、平成30年10月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については30.6%となります。

この税率変更により、繰延税金資産の純額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が1,706千円減少し、法人税等調整額が4,203千円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,477,460	651,330
受取手形及び売掛金	2,882,834	2,622,547
たな卸資産	4,598,252	6,294,235
繰延税金資産	71,700	62,495
その他	206,957	129,419
流動資産合計	9,237,204	9,760,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,254,240	2,286,242
減価償却累計額	△1,797,366	△1,810,710
建物及び構築物(純額)	456,873	475,531
機械装置及び運搬具	1,774,857	1,774,531
減価償却累計額	△1,516,416	△1,537,758
機械装置及び運搬具(純額)	258,440	236,773
土地	1,509,111	1,509,111
その他	269,753	269,747
減価償却累計額	△251,199	△253,891
その他(純額)	18,553	15,855
有形固定資産合計	2,242,979	2,237,272
無形固定資産	43,730	41,284
投資その他の資産		
投資有価証券	377,935	356,155
繰延税金資産	52,789	56,179
その他	104,675	103,601
貸倒引当金	△11,000	△11,000
投資その他の資産合計	524,400	504,936
固定資産合計	2,811,111	2,783,493
資産合計	12,048,315	12,543,520
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	897,303	835,646
短期借入金	—	600,000
未払金	835,265	868,147
未払法人税等	10,930	24,000
賞与引当金	83,302	81,264
その他	56,524	58,239
流動負債合計	1,883,326	2,467,297
固定負債		
役員退職慰労引当金	213,587	219,687
退職給付に係る負債	342,702	336,101
その他	1,814	1,468
固定負債合計	558,104	557,257
負債合計	2,441,430	3,024,555

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	814,340	814,340
資本剰余金	1,043,871	1,043,871
利益剰余金	7,672,919	7,597,985
自己株式	△24,884	△25,070
株主資本合計	9,506,246	9,431,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122,795	108,287
為替換算調整勘定	11,300	9,230
退職給付に係る調整累計額	△33,457	△29,679
その他の包括利益累計額合計	100,638	87,839
純資産合計	9,606,885	9,518,965
負債純資産合計	12,048,315	12,543,520



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	8,494,791
売上原価	5,689,552
売上総利益	2,805,238
販売費及び一般管理費	2,779,835
営業利益	25,403
営業外収益	
受取利息	155
受取配当金	3,188
為替差益	325
その他	4,394
営業外収益合計	8,063
営業外費用	
支払利息	159
営業外費用合計	159
経常利益	33,307
特別利益	
固定資産売却益	1,084
特別利益合計	1,084
特別損失	
固定資産除却損	11
ゴルフ会員権評価損	1,400
特別損失合計	1,411
税金等調整前四半期純利益	32,981
法人税、住民税及び事業税	18,245
法人税等調整額	13,582
法人税等合計	31,827
四半期純利益	1,153
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,153

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	
四半期純利益	1,153
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△14,507
為替換算調整勘定	△2,070
退職給付に係る調整額	3,778
その他の包括利益合計	△12,799
四半期包括利益	△11,645
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,645
非支配株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	32,981
減価償却費	57,331
受取利息及び受取配当金	△3,343
支払利息	159
固定資産売却損益(△は益)	△1,084
固定資産除却損	11
会員権評価損	1,400
為替差損益(△は益)	614
売上債権の増減額(△は増加)	270,087
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,696,295
仕入債務の増減額(△は減少)	△60,333
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,037
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,100
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19
その他	△1,184
小計	△1,395,614
利息及び配当金の受取額	3,393
利息の支払額	△272
預り保証金の受取額	96
預り保証金の返戻額	△442
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	66,541
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,326,298
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△19,204
有形固定資産の売却による収入	1,084
投資有価証券の取得による支出	△3,299
貸付金の回収による収入	160
その他の投資等の取得による支出	△738
その他の投資等による収入	135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,862
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	800,000
短期借入金の返済による支出	△200,000
自己株式の取得による支出	△186
配当金の支払額	△75,596
財務活動によるキャッシュ・フロー	524,217
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,187
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△826,130
現金及び現金同等物の期首残高	1,077,460
現金及び現金同等物の四半期末残高	251,330

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は食料品の製造・販売及びその他の事業がありますが、その他の事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、その他の事業の開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。